

令和4年度の学校経営

「地域とともにある学校づくり」を目指して

土浦市立真鍋小学校長 酒井 宏之

4月11日、真鍋小の伝統行事「お花見集会」が保護者や地域の皆様に見守られ、3年ぶりに開催されました。1年生は6年生に手を引かれ、笑顔いっぱいに入場しました。樹齢115年を迎えた「真鍋の桜」も待ってくれていたかのように、美しい花を咲かせていました。

真鍋小学校の特色は「地域とともにある学校」です。しかし、ここ2年間は新型コロナの影響で、地域との交流行事は中止または変更を余儀なくされました。

新型コロナの収束の兆しは見えません。今年度は、「学びを止めない」「ウィズコロナ」の精神で、「地域とともにある学校づくり」を、校長として、悔いの残らないよう推進していく所存です。保護者そして地域の皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

《学校経営の方針》

- ◎ 本校の良き伝統の上に成り立ち、職員の総力を結集して時代を見据えた教育の展開を図り、児童・家庭・地域の期待に応えられる学校づくりに努める。

《重点施策》

- 1 学ぶ意欲を高め、基礎・基本の定着を図りながら、授業の工夫改善に努め、思考・判断・表現力の向上を目指す。
- 2 9年間を見通した小中一貫教育の推進を図る。
- 3 地域との連携を核とした絆づくりを活かした学校経営に努める。
- 4 感染症予防の方策を工夫し、健康安全の意識を高める。



